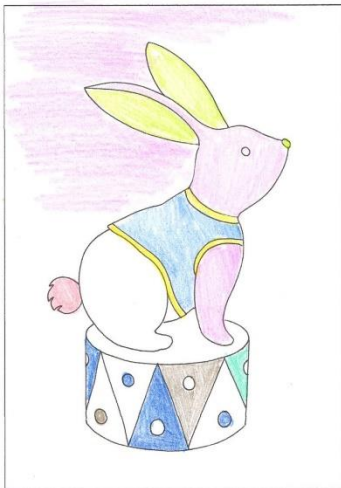


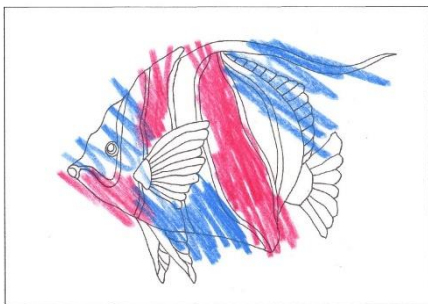
〔塗り絵の褒め方マニュアル〕

例①（やさしい感じ）



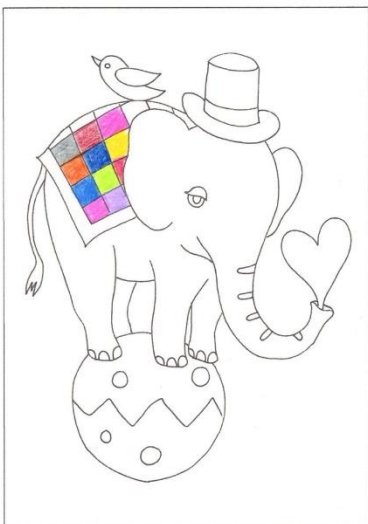
「紫と茶色の組み合わせなんて、なかなか思いつかないね
「やさしい感じだね～、〇〇さんの人柄がでているね」
「〇〇さんの塗った色を見ていると優しい（楽しい・ウキウキした）
気持ちになるよ」
「塗り方が柔らかくてきれいだね」
「青と黄色の組み合わせって良い感じだね。これ〇〇さんが考えたの？」
「すごいねそうなんだねセンスいいね～」
「〇〇さんならではのだねカッコいいね」
「〇〇さんの色使いが本っ当に好き。ず～っと見ていたくなるよ」
「これは〇〇さんの世界だね。とても素敵だね」

例②（荒い・粗い=力強い）



「すごいね力強いねカッコいいね」
「大胆さが魅力だね」
「男性的な感じ。さすがだね」
「生命力にあふれているね」
「〇〇さんの色使いに元気をもらえるよ」
「すごく目立つ表現で、なかなか出来る人いないよ～」
「色の使い方が鮮やかだね。〇〇さんの持ち味だね～」
「生き生きした感じが伝わってくるね」

例③（細かさと丁寧さ）



「すごいねこれ〇〇さんが塗ったの？」
「ぜんぜんはみ出してないね。完璧だね」
「すごく上手。手先がとても器用なんだね」
「この丁寧さはすごいね。驚くね」
「〇〇さんにしか出来ないことだね」
「色の選び方が最高。どうしてこんな組み合わせが思いつくの？」
「バランスが本当に良いよね」
「こんな感じで完成したら、すごい作品になりそうだね」

例④（色のかさなりと味わい）



「わ～、なんか雰囲気がいいね」

「夢の世界って感じだね」

「〇〇さんの夢（記憶）の中のイメージなのかな」

「〇〇さんにしか出せない味わいがあるね」

「シンプルな色使いが、すごく効果的だね」

「色と色とが重なっているところが、

すごく味わいがあって魅力的になってるね」

「もっと〇〇さんの世界を見てみたいな」

「線の感じが独特だよ」

「ブルー系でまとめている、大人っぽくて良い感じだね」

例⑤（持続時間や行為そのもの）

集中できる時間が長くなっていることや、塗り絵に取り組んだこと自体も言葉にして褒めましょう。

「わ～、もう15分以上集中していますね。すごいですね」

「毎日少しずつ続けているんですね。継続は力なりですね」

「塗り絵をする時間が増えているみたい。楽しそうですね」

「〇〇さんの集中力には誰もかないませんね」

「〇〇さんはすごいなあ。どうやったらこんな風にできるの？」

「コツを教えてください？」

「〇〇さんを見習わなくちゃ」

「やるたびに上手くなっているみたい」

「〇〇さんの違う一面を発見したよ～」